



お知らせ

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
(TEL: 04-7165-8707 FAX: 04-7165-8709)

成年後見制度利用促進シンポジウム 成年後見制度利用促進法に基づく今後の仕組みづくり

日時: 平成29年7月5日(水) 13:00~16:30(受付開始12:15~)
会場: 千葉市生涯学習センター 2階ホール (千葉市中央区弁天3-7-7)
費用: 無料
定員: 300名(要申込み 6/27迄)



内容: 基調講演「成年後見制度利用促進基本計画の決定を受けて—その意義と課題—」
講師 山野目章夫氏(早稲田大学大学院法務研究科教授)
シンポジウム「地域における成年後見制度利用促進の仕組みとネットワーク構築をどう進めるか」

◇問い合わせ・申込み◇

千葉県社会福祉協議会 後見支援センター
電話: 043-204-6012 / メール: smile@chibakenshakyo.com



中核地域生活支援センター大会 in 2017 若者たちの見えない貧困を考える ～『我が事・丸ごと』の仕組みづくりに向けて～

日時: 平成29年7月21日(金) 10:00~16:30
会場: 千葉市生涯学習センター 2階ホール (千葉市中央区弁天3-7-7)
費用: 1,000円
定員: 300名(先着順)

内容: 問題提起「子ども・若者の現実～つながりから遠ざかる人たち～」

基調講演「我が事・丸ごとの地域づくりを目指して」

講師 本後健氏(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 生活困窮者自立支援室長)
シンポジウム「子ども・若者の現実をふまえ、新たな可能性を探る」



◇問い合わせ・申込み◇

中核地域生活支援センター「君津ふくしネット」
電話: 0439-27-1482 / メール nozominomon1151@muse.ocn.jp



「じんけん」ぽん

(2017.6/No158)

発行日 29/6/7

社会福祉法人生活クラブ
柏市地域生活支援センター
あいネット
〒277-0004
柏市柏下65-1
ウェルネス柏内
電話: 04(7165)8707
FAX: 04(7165)8709

目次

H28年度 あいネット実績	1
わが子のニート・ ひきこもりをこの 1年で解決しよう	2
就労準備支援室 より	3
お知らせ	4

～ひとこと～

先日、皇居の周りを散策しました。皇居ランナーと呼ばれる人達がひっきりなしに横をすり抜けていきます。いい汗をかいている姿にちょっと私も走ってみようかと思い、20歩30歩…心が折れました。ランナーの背中がキラキラと感じた一日になりました。



H28年度あいネット実績

＜H28年度の新規相談件数の推移＞

新規相談件数は915件あり、H27年度の846件を上回りました。そのうち、総合相談事業が378件、生活困窮者の相談が537件ありました。

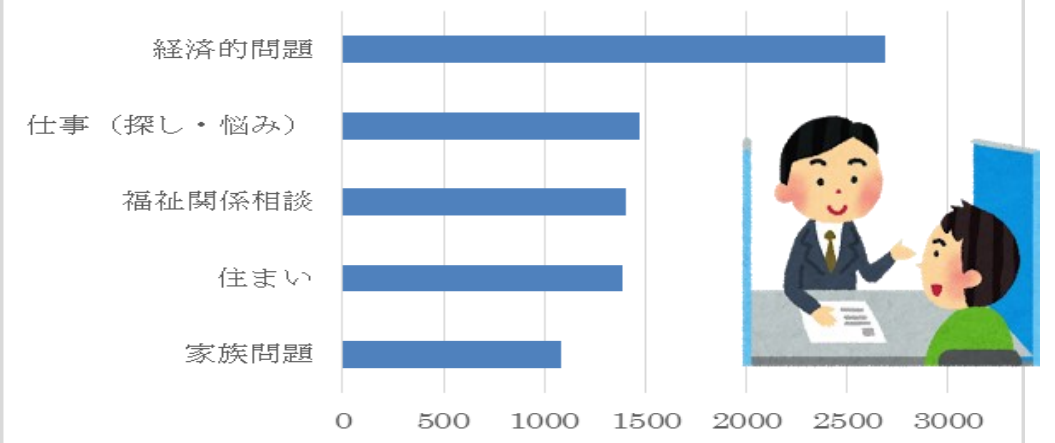


H28年度 新規 相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	37	33	16	36	37	36	36	34	30	24	26	33	378
生活困窮	52	46	47	47	42	42	41	52	42	42	40	44	537
合計	89	79	63	83	79	78	77	86	72	66	66	77	915

＜相談内容＞

上位5項目では、①経済的問題②仕事(探し、悩み)③福祉関係相談④住まい⑤家族問題の順でした。

相談内容 (上位5項目)



経済的問題の背景に失職による仕事の課題、家賃滞納等による住まいの課題がある事が分かりました。福祉関係相談では、障害疑いの方、障害はあるが福祉サービスの利用に至っていない方の福祉サービス利用へのつなぎの支援を行いました。

＜時間帯＞

8:30~17:15の開所時間の相談が9023件ありました。時間外(早朝・夜間・深夜帯)の相談は延べ1088件となっており、H27年度の742件から大幅に増加しました。生活困窮者は平日の昼間は仕事をしている事もあり、時間外での対応が増えたと思われます。

(H28年度あいネット実績 つづき)

<支援方法>

電話(6139件)が一番多く、次いで来所(1872件)、訪問(1605件)の順番でした。



<年齢>

30代~40代が一番多く、次いで50代~64歳まで、18歳~20代の順番でした。65歳以上は地域包括支援センターと連携して動く事が多くありました。

<障害の内訳>

精神障害の方の相談が一番多く、次いで障害なしの方、身体、知的の順番でした。相談者の層としては30代~40代の精神障害の方が一番多い事が分かりました。今年度の特徴としては、発達障害の方の相談が544件(H27年度278件)と増加しました。

<世帯>

単身が一番多く、次いでそれ以外(両親と子が同居している世帯、夫婦世帯等)、ひとり親世帯の順でした。あいネットに相談に来る方は、社会的に孤立し、身寄りのない方が多い傾向にある事が分かりました。

H27.4に施行された生活困窮者自立支援法により、あいネットは生活困窮に関する相談が増えました。ただ、制度は出来ても制度の狭間は生まれ、制度からこぼれ落ちてしまう方々が少なくありません。あいネットは制度からこぼれ落ちてしまった方々を制度や支援機関、人に「つなぐ」機関です。ただ「つなぐ」だけではなく、相談者の思いや性格、これまでの人生を踏まえ、相談者の歩幅に合わせた丁寧なつながりを大切にしていきたいと思っています。

「わが子のニート・ひきこもりをこの1年で解決しよう」

NPO法人ニュースタート事務局主催
5/28 inちよだプラットフォームスクエア



1994年から市川市を拠点にニート・ひきこもりの若者支援をおこなってきたNPO法人の、「1年で解決する」の言葉にひかれて、事務局理事の二神能基氏の基調講演会に行ってきました。

二神氏の印象によると、3,4年前からニート・ひきこもりは減少傾向にあり、加速度的に問題解決に向かっているという感触があるそうです。しかしその一方で3年以上の長期ひきこもりの若者が取り残されてしまい、問題解決が難化する傾向にあるそうです。

特に難しいのが親と子の間の考え方にずれが生じたまま長期にわたって放置されてきたケースです。自立しろ、自立しろと言いながら、結果として子の足を引っ張っている親が多いことを指摘されていました。例えば「自立のためには親と子が理解しあう、そのために話し合わなければいけない」にこだわりのすぎで解決が遅れているケース。家族幻想が強く、考えの相違に対して敬意を持たないことにより、子どもがより接触を避けたがるご家庭が多いそうです。

就労することが幸せにつながる、生きてさえいればそれでいい、当事者である子ども達はそう思わないから苦しみ、部屋にこもるのだと当事者たちは語っています。

「われわれがやっていることは就労支援ではなく、幸せ支援である」子ども側から見て大事と言われているのは「仲間、働く、そして役立ち」。どうしても「就労」「収入」に目が行きがちですが、「自分は人の役に立っている」と実感するところから引きこもり状態は解消される、そういった役立ちの場をみつけてあげることがあいネットでもこころがけないといけない、そう感じたお話でした。



あいネット就労準備支援室より

就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。



面接の心得No.1-1

身だしなみとおしゃれの違い？

身だしなみとおしゃれの違いは、ご存知の方が多いと思います。おしゃれとは自分を基準にした装いで、身だしなみ⇒身のたしなみ、相手が受ける印象が基準です。ご自分の個性を強く表現するような業界なら、おしゃれでもいいわけです。それに対して、身だしなみは不特定の相手に不快な印象を与えてしまわない装いと考えられます。



精神科デイケアの目的と効果 no14-5

対社会技能の獲得

デイケアではそこまで高度な作業を行うわけではありませんが、時にはかんたんな作業を行うこともあります。これは患者さんに社会生活に必要な技能を獲得してもらう良いリハビリになります。デイケアの作業で社会技能が上がってくれば、更に社会技能の獲得を目指して作業所に通所したり、就労支援センターに通所したりとステップアップを目指していくことも可能です。

コミュニケーション講座から



コミュニケーション講座ではコミュニケーションの基本である聴くこと、伝えることを様々なワークを通しておこなっていきます。ワークとしては日常の出来事に対して他人がまた自分がどのように感じているのかを考え、他者と自分の価値観の違いについて学ぶものなどがあります。自分の価値観が他者と違う事に不安を感じる方も多いと思います。違う価値観を伝える、自分とは違う考えを受け入れることをワークを通して学び実践していきましょう。



就労準備室の各講座は、毎月1回のペースで行われています。参加は無料です。上記の講座のほか、スポレク講座、おもちゃ講座等があります。お気軽にご参加ください。